

人材開発助成金（厚労省）を活用した
教育訓練（セミナー受講）の情報提供

JASPEC



一般財団法人JASPEC

Japan Assistive Products Evaluation Center

←リンク先

厚生労働省 人材開発支援助成金

旧称：キャリア形成促進助成金



概要

人材開発支援助成金は、職務に関連した専門的な知識及び技能の習得を、**計画に沿って従業員に職業訓練として実施する**事業主等を支援する制度です。

訓練経費や**訓練期間中の賃金の一部**等が助成されます。

【助成対象経費】

自社内で企画して行う教育訓練に関する費用

- ★部外講師の謝金(※実訓練時間 1 時間当たり 1 万 5 千円上限)、旅費
- ★施設・設備の借上げ費

教育訓練計画内で外部研修を活用する費用

- ★外部の教育訓練施設等に支払う受講料、教科書代等

訓練期間中の所定労働時間内の賃金

- ★業務時間範囲で、訓練に費やす時間に必要な人件費

【助成活用例 1】

①「ほっとデスク年間定例セミナー」

上記全カリキュラムを受講した場合

【助成活用例 2】

①「ほっとデスク年間定例セミナー」

②「車いす安全整備士養成講座」

上記①と②を組合わせた場合

【助成活用例 1】



詳細リンク

① ほっとデスク年間定例セミナー全カリキュラム

開催月	講座時間	受講料
6月（1日間）	6時間	11,000円
8月（2日間）	12時間	22,000円
10月（2日間）	12時間	22,000円
12月（2日間）	12時間	22,000円
2月（2日間）	12時間	22,000円
合計	54時間	99,000円

自己負担額計算 ※諸条件によって、助成金が増える場合があります。

ほっとデスクセミナー全工程受講料**99,000円**

99,000円－助成金45％44,550円＝自己負担額**54,450円** ※月額換算4,538円

賃金助成 ※諸条件によって、助成金が増える場合があります。

受講自己負担額54,450円－賃金助成額(54時間×760円＝**41,040円**)

実質受講自己負担額＝**13,410円** ※月額換算1,118円

【助成活用例 2】

①ほっとデスク年間定例セミナー＋②車いす安全整備士養成講座
＝63時間10分

①年間全工程54時間

②座学計2時間50分＋実技計7時間20分＝10時間10分
小休止60分を差し引いて9時間10分

自己負担額計算 ※諸条件によって、助成金が増える場合があります。

①ほっとデスクセミナー全工程受講料**99,000円**

②新規受講料(4,180円)＋車椅子レンタル費(6,600円)＝48,400円

①＋②＝**147,400円**

147,400円－助成金45％66,330円＝自己負担額**81,070円** ※月額換算6,756円

賃金助成 ※諸条件によって、助成金が増える場合があります。

受講自己負担額81,070円－賃金助成額(63時間10分×760円)＝**48,006円**

実質受講自己負担額＝**33,064円** ※月額換算2,755円

【助成制度活用フロー】

- ① 「職業能力開発推進者」を選任
- ② 「事業内職業能力開発計画」を作成
- ③ 「訓練計画」を作成し、提出
- ④ 訓練の実施
- ⑤ 支給申請

各都道府県**労働局**にて事業内**職業能力開発計画の作成**の相談を受け付けています。
また、厚生労働省のホームページに各種情報（作成の手引き、Q&A、企業の取組
実例など）を掲載しています。作成に当たってご覧ください。

[「事業内職業能力開発計画」作成の手引き](#)